

数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）自己点検・評価

1 点検・評価の実施

令和7年度における「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」を構成する授業科目について点検・評価を行った。

2 点検・評価の対象科目

当該プログラムを構成する3科目「ビジネスソフトウェアの基礎と応用」（1年次）、「AI時代のデータサイエンスと倫理」（1年次）、「データサイエンスの理解と応用」（2年次）について点検・評価を行った。なお、「情報リテラシー」（3年次）については、令和7年度が最後となり、今後は後継の「データサイエンスの理解と応用」のみとなる。

3 点検・評価に用いた資料等

- ①上記科目の自己評価・成長実感アンケート（授業科目レベルの学修成果に関して自己評価をするもの）の調査結果
- ②上記科目のシラバス・履修要項
- ③上記科目の履修状況に関するデータ

4 点検・評価結果の総評

後述の3つの視点から自己点検・評価を実施した。修了者数は科目の変更前に続き高い水準にあり、来年度以降も継続して質の高いプログラムの実施を行えるよう努めたい。アンケート結果については、どの科目においても、学生の意識や学修への取り組みの高さが分かる数値である。しかしながら、科目によっては昨年度よりも数値を下げているものもあり、今後の課題として対応を検討することが必要である。アンケート結果の中味の分析や、学生の感想等を参考に、より効果的なプログラムとなるよう改善が求められる。

【点検・評価の詳細について】

1 プログラムの履修者及び修了者数（別紙1）

当該プログラムを構成する3科目「ビジネスソフトウェアの基礎と応用」（1年次）、「AI時代のデータサイエンスと倫理」（1年次）、「データサイエンスの理解と応用」（2年次）はすべて必修科目のため、開設年度（令和5年度）から6年経過する令和10年度には全学生比履修率が100%になる見込みである。

2 自己評価・成長実感アンケート結果（別紙2）

当該プログラムを構成する3科目について、次の5つの設問に関する結果を考察した（結果は別紙のとおり）。設問1、設問5の問いに対しては「とてもよくあてはまる」、「おおむねあてはまる」、「どちらかというにあてはまる」にほぼ8割以上の学生が回答しており、学生の積極的な姿勢が数値に表れていることが読み取れる。また、将来に向けてデータサイエンス活用の重要性を意識させ、継続的に学修させる仕組みづくりも今後の課題である。

- ①当該授業のシラバスを理解し、授業に臨んだ
- ②授業内容についてよく理解できた
- ③授業によって知的好奇心が刺激された
- ④ディプロマ・ポリシーの到達目標を達成するために一歩前進した
- ⑤総合的に判断してこの授業に満足した

3 全学的な履修者数等の向上に向けた計画

全て必修科目となっている。したがって、年度進行とともに令和7年度には全ての学年において100%を達成する予定である。今後は、生成AIの使用の際のハルシネーション回避やクリエイティブコモンズなど、社会の実情にあわせた倫理問題を触れながら、実験で得られた結果をよりわかりやすく説明するためのライフサイエンス領域での情報科学、データサイエンスのより深い学修を行える設計にする。

別紙1 プログラムの履修者及び修了者数

科目名	開講学年学期	履修者			修了者		
		薬学科	創薬科学科	合計	薬学科	創薬科学科	合計
ビジネスソフトウェアの基礎と応用	1年前期必修	267	23	290	267	23	290
AI時代のデータサイエンスと倫理	1年後期必修	267	23	290	266	23	289
データサイエンスの理解と応用	2年後期必修	272	20	292	272	20	292
情報リテラシー	3年前期必修	262	17	279	262	17	279

令和7年度（2025年度）は、データサイエンスの理解と応用とその後継にあたる情報リテラシーについて、履修し修了した571名が本プログラムの修了者となる。この571名は、本プログラムが開設された令和5年度（2023年度）から初の修了者となる。

今後も1学年分の280名前後が修了者となり、累計に加算されていく予定。

履修者に関しては、令和7年度の3年生が6年生になる令和10年度には、100%となる予定。

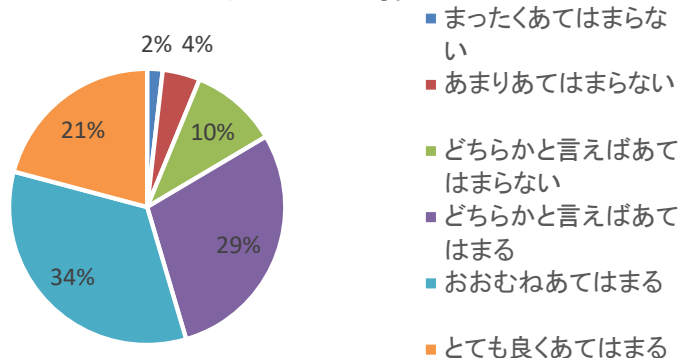
別紙2 自己評価・成長実感アンケート結果

- ①当該授業のシラバスを理解し、授業に臨んだ
- ②授業内容についてよく理解できた
- ③授業によって知的好奇心が刺激された
- ④ディプロマ・ポリシーの到達目標を達成するために一歩前進した
- ⑤総合的に判断してこの授業に満足した

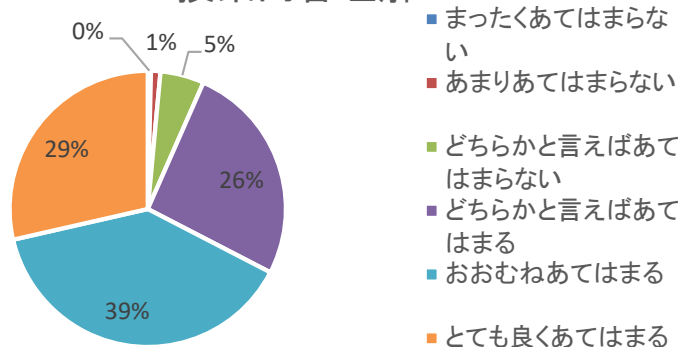
ビジネスソフトウェアの基礎と応用

回答数n=273

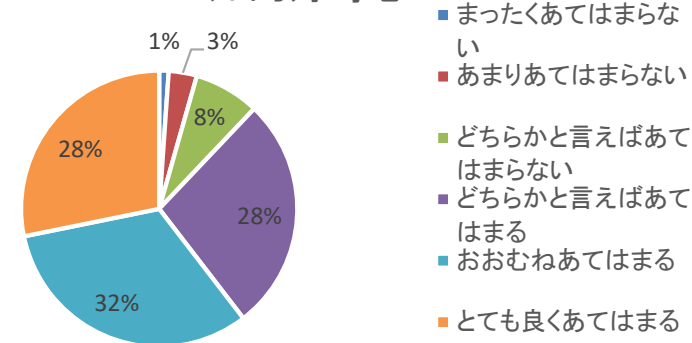
シラバス理解



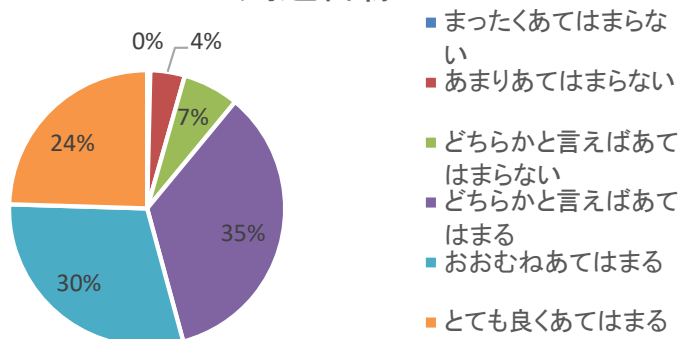
授業内容理解



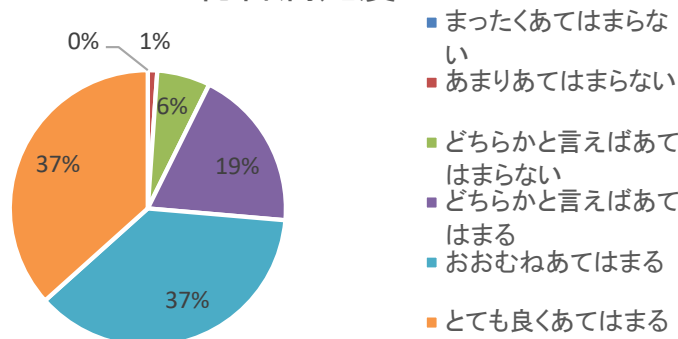
知的好奇心



DP到達目標



総合満足度



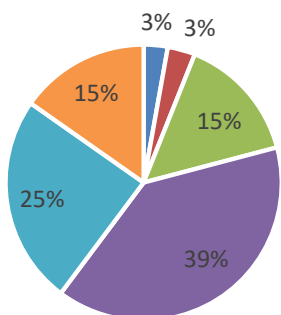
別紙2 自己評価・成長実感アンケート結果

- ①当該授業のシラバスを理解し、授業に臨んだ
- ②授業内容についてよく理解できた
- ③授業によって知的好奇心が刺激された
- ④ディプロマ・ポリシーの到達目標を達成するために一歩前進した
- ⑤総合的に判断してこの授業に満足した

AI時代のデータサイエンスと倫理

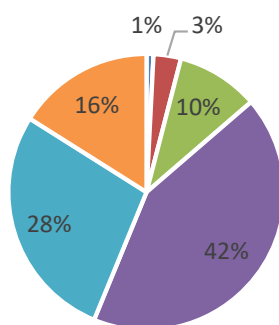
回答数n=249

シラバス理解



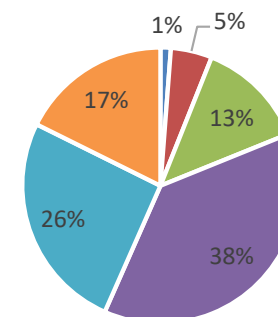
- まったくあてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまる
- おおむねあてはまる
- とても良くあてはまる

授業内容理解



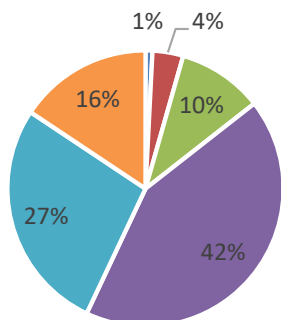
- まったくあてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまる
- おおむねあてはまる
- とても良くあてはまる

知的好奇心



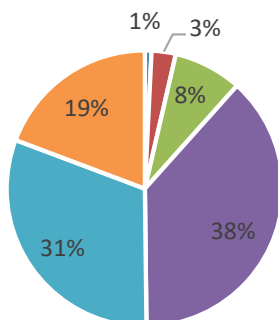
- まったくあてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまる
- おおむねあてはまる
- とても良くあてはまる

DP到達目標



- まったくあてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまる
- おおむねあてはまる
- とても良くあてはまる

総合満足度



- まったくあてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまらない
- どちらかと言えばあてはまる
- おおむねあてはまる
- とても良くあてはまる

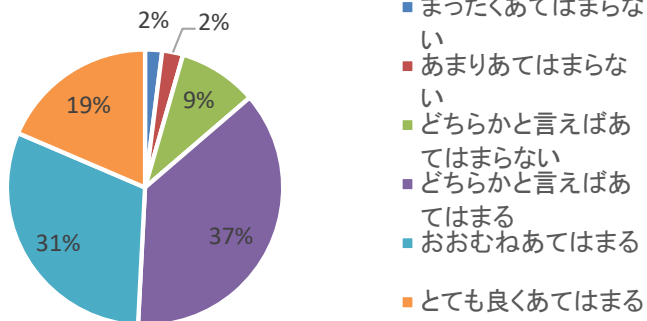
別紙2 自己評価・成長実感アンケート結果

- ①当該授業のシラバスを理解し、授業に臨んだ
- ②授業内容についてよく理解できた
- ③授業によって知的好奇心が刺激された
- ④ディプロマ・ポリシーの到達目標を達成するために一歩前進した
- ⑤総合的に判断してこの授業に満足した

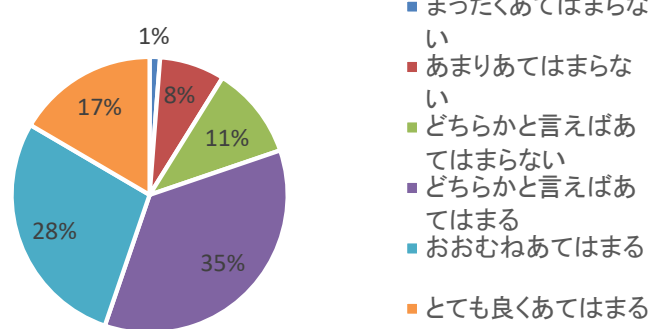
データサイエンスの理解と応用

回答数n=248

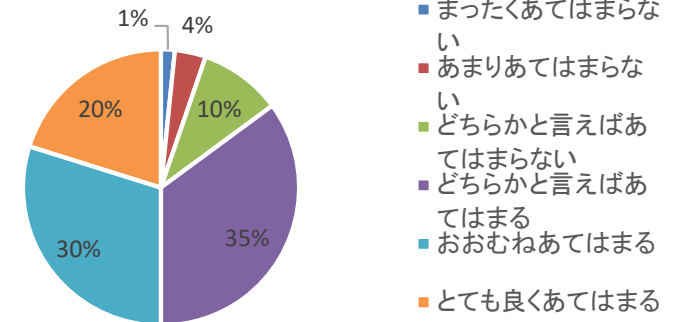
シラバス理解



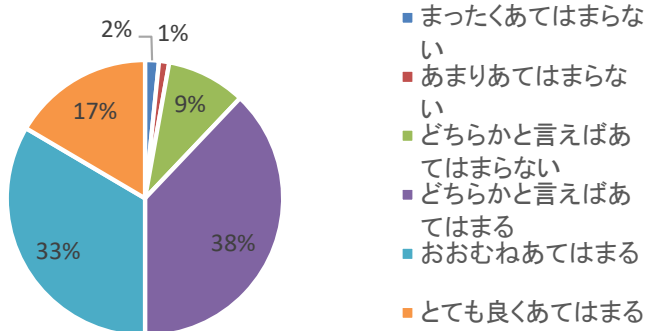
授業内容理解



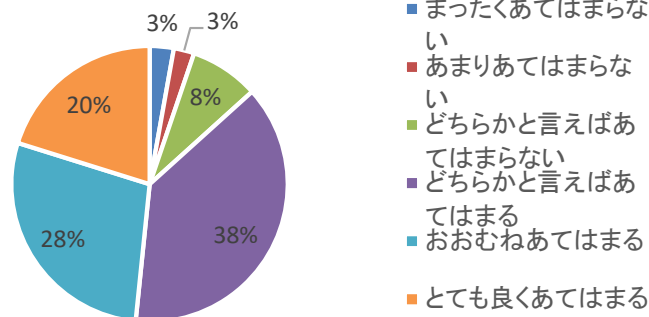
知的好奇心



DP到達目標



総合満足度



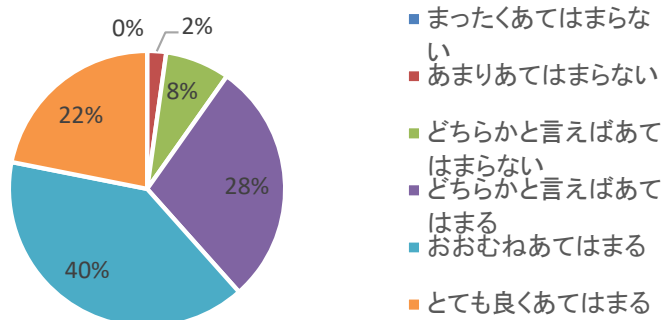
別紙2 自己評価・成長実感アンケート結果

- ①当該授業のシラバスを理解し、授業に臨んだ
- ②授業内容についてよく理解できた
- ③授業によって知的好奇心が刺激された
- ④ディプロマ・ポリシーの到達目標を達成するために一歩前進した
- ⑤総合的に判断してこの授業に満足した

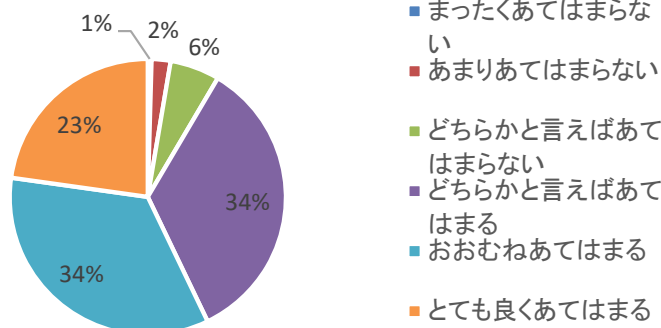
情報リテラシー

回答数n=224

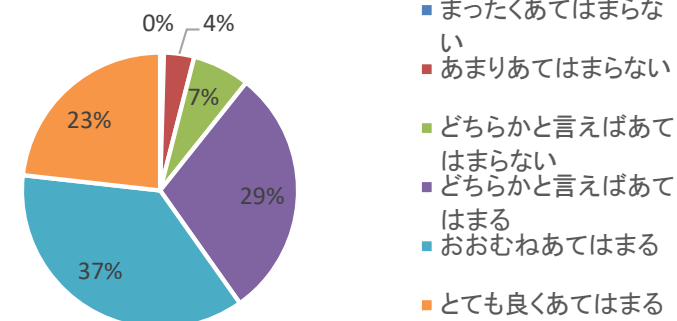
シラバス理解



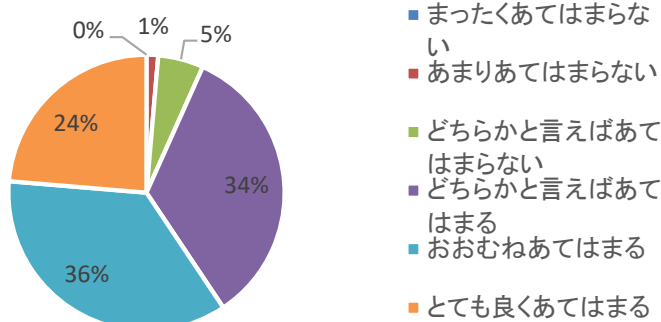
授業内容理解



知的好奇心



DP到達目標



総合満足度

